

運の話

校長 山川 毅

夏休みが終わりました。今年の夏も猛暑に見舞われ、体調管理が難しい日々でしたが、みなさん元気に過ごせたでしょうか。7月28日には、「令和8年熊本地震」が発生し、大きな被害が出てしまいました。熊本県ではちょうど10年前にも大地震が発生し、必死に復興への歩みを進めてきた矢先の災害。しかも、今回は発生後気温40度にも達する猛暑に見舞われ、避難生活は我々が想像を絶するものだったと察します。あまりにも運が悪すぎると言わざるを得ない状況でした。

運が悪いと言えば、北中米W杯サッカー日本代表の選手が思い浮かびます。開幕直前、3人の主力選手（南野選手、三苫選手、遠藤選手）のケガによる離脱。また、初戦のオランダ戦では、さらに1名の選手（久保選手）が負傷し、その後の試合には出場できませんでした。出られなかった選手はもちろん、チームとしても、さぞ悔しかったことでしょう。

さて、新学期を迎えるみなさんに「運」の話をします。私が以前勤務していた学校において、オリンピック・パラリンピック教育の一環（アスリート招聘）でお招きした元レスリング日本代表（ソウルオリンピック・バルセロナオリンピック）の西口茂樹さんの話を紹介します。当時西口さんは、引退後、レスリングの指導者として、後進の指導にあたっておられました。西口さんのお話によると、若い選手たちは、それこそ毎日血がにじむような努力をしているそうです。しかし、どのスポーツ選手も同様ですが、どんなに実力があっても、体調やけがによって、本来の力を発揮できず、試合で結果が出せないことが多々あるそうです。それでも、彼らは必死に努力し続ける・・・それはなぜでしょうか？ここからは、西口さんの言葉通りに記します。

“運が良い日も悪い日もある。運は平等に与えられている。運が良い時は、「次に必ず運が悪い時がくるから、今のうちにしっかり努力して、いざという時に備えておこう」と考える。また、何をやってもうまくいかない時には、「運が良くなるように」と、やっぱり努力をする。結局運が良くても悪くても、努力をすることが大切なのです。”

長い2学期が始まりました。日々学校生活を送る過程で、きっと運が良いと感じる時も、運が悪いと感じる時もあるでしょう。しかし、みなさんにとっては、一生に一度のかけがえのない中学校生活の“この時”です。将来の為に力を蓄えるとても大切な時期です。ひとり一人が、毎日毎日を大切に過ごして欲しいと思います。

最後に、西口さんがお話してくださった「人生で大事なこと3つ」を紹介します。

① 諦めない心 ② 勇気をもって立ち向かう心 ③ 人のアドバイスを受け入れる素直な心

人生は複雑です。先も読めません。だからこそ、このような分かりやすい言葉を胸に、日々目の前のことに手を抜かずに取り組むことが大切なのではないでしょうか。

（8月27日2学期始業式校長講話より）



鏈水中学校グループ育てたい児童・生徒像 「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」

鏈水中学校グループ 小中一貫教育の日 小中一体化の取組の充実



↑左:公開授業の様子 中左:協議について研究主任から説明 中右:グループ協議 右:本校教員による「あさぷれ」の研修報告

7月8日(水)、1学期の小中一貫教育の日は、鏈水中学校グループ(由木西小・鏈水小)の先生方が、鏈水中学校に集まり、公開授業(国語・英語・保健体育)を参観した後、協議会を行いました。公開授業のテーマは鏈水中学校の令和8年度の研究テーマである「授業のユニバーサルデザイン化」です。「視覚化」「焦点化」「共有化」の視点から活発な議論が行われました。

公開授業の協議の後は、本校教員より、先月行った「プレ中学生プロジェクト(小6の一日鏈水中体験)」の報告、鏈水小学校の『あさぷれ』に鏈水中の校内研修として参加した教員が学んだこと(「スタッフ全員が児童に対する考え方を共有していること」「トラブルがあった際、児童本人が解決できるように寄り添う姿勢」等)と、「あさぷれ」のスタッフの方への感謝の気持ちを伝えました。

とても充実した小中一貫教育の日になりました。

対話の時間～生徒会選挙に立候補者が定数の場合、立会演説会・信任投票をするべきか～ 立場や意見の違う人たちと対話から納得解をつくる・当事者意識をもって行動する力の向上

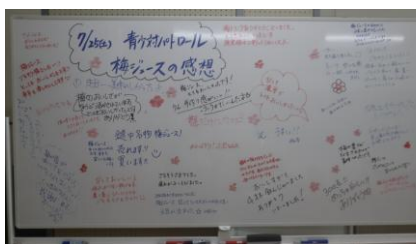


朝読書(8:20～8:35)の時間を月に2回程度の頻度で「対話の時間」として、ルールメイキングを行います。今回のルールは「生徒会役員選挙の立候補者が定員内であれば、立会演説会と信任投票を行う必要があるのか、どうか」です。第1回目の今回は、小グループで対話しました。実施する派が多いようですが、理由を含めて対話が深まると良いと思いました。

ちなみに日本では、国政選挙や地方自治体の首長、議会議員等の選挙で、定員割れの場合、選挙は行われず、無投票当選となります。政見放送や選挙公報の配布も行われません。

青少対主催地域パトロール

校内別室指導教室の取組登校支援・特別支援教育の充実



↑左:参加者が感想を書いている様子 右:梅ジュースの感想

7月25日(土)、青少対「夏の地域パトロール」を実施しました。パトロール後、参加された方に、鏈水中学校の校内別室の活動として作った梅ジュースを振舞いました。ホワイトボードに「手作り感が良い。こういうのでいいんだよ。」等たくさん感想を書いていただきました。

鏈水中学校は「対話 de 指導」

鏈水中学校グループ育てたい児童・生徒像
「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」



スケアードストレイト

交通安全意識を高め、自転車走行ルール・マナーの向上を図る



7月2日（木）にスケアードストレイトを行いました。実際の自転車での交通事故場面を再現しながら、注意すべき点を教えていただきました。青切符制度や「ながらスマホ」「傘さし運転」等について説明があり、交通ルールを守ること

の重要性について注意喚起がありました。今回の交通安全教室を通して、一人ひとりが自分自身の命と周囲の人の命を大切にしながら、安全に行動していく意識を高めることができました。

ブルーベリー収穫

生徒会活動の活性化



↑上左:収穫する生徒会役員 上右:収穫したブルーベリー

7月中旬から8月にかけて生徒会の「ブルーベリー畑」の果実が肥大、成熟してきました！成熟した果実は、南大沢小学校の渡辺妙子栄養士に御協力いただき、9月15日（火）の給食になることが決まりました。

【9月15日(火)の給食】

- ・胚芽パンと手作りブルーベリージャム
- ・金時豆のポークシチュー
- ・キャベツとコーンの温サラダ ・牛乳

The Next Action～評価評定の質問教室～

学力向上の取組



↑上左右:担当教員から助言を受ける生徒

昨年度まで実施していた「評価評定の質問教室」を、より今後の学習や生活の改善に確実ににつなげてもらいたいという思いから「The Next Action（今いる状況を前に進めるための、すぐに取り掛かれる具体的な一歩）」と名称を変更し、内容も学習方法や学習に取り組む姿勢の改善について担当教員から助言するようにブラッシュアップしました。

今回の「The Next Action」では、予定の時間を超えて、たくさんの生徒が各教科の担当の教員に、「The Next Action」を聞いていました。

◆研究授業のため【9月2日(水)2年1組】5時間授業となります。

鏈水中学校では令和8年度は「授業のユニバーサル化」の研究を行っています。9月2日は筑波大付属小学校の溝越 勇太教諭を講師として招聘して研究授業・校内研修会を行います。2日（水）は、2年1組が研究授業を行います。2年1組以外は4時間授業・給食後下校となります。

鏈水中学校は「想像力」と「思いやり」